

セカンドセックス

2021 ごまららハート

//トラック1

「.....はあ.....はあ.....ああ.....んつ.....はあ.....あああつ！」

「ああうつ！ あつ、そこ.....ヤバ、い.....！ ダメ、だって.....それ、されたら.....
アタシ、すぐ.....イっちゃうから.....！」

「あつ、ああつ、もう、んんうつ.....！ お兄、本気、出し過ぎ.....あつ、無理、我慢、
できなつ.....あ、あつ、あつあつ——」

「んん、んああつ.....あああああああ.....！」

「はあ.....はあ.....はあ.....ん.....バ、バカあ.....お兄、エグすぎい.....」

「今日は.....ラブホで.....ゆっくりイチャイチャするって.....約束だったじゃん.....んな
飛ばしてたら、お互い、持たないつしょ.....」

「んつ、あ.....こら.....まだ抜くなよお.....い、いいからこのまま、くついてろって.....」

「はあ.....はあ.....つたく、ちょっとは有難がれし.....♡ 幼馴染の現役JKが、こんな簡単
にセックスさせてくれるとか.....普通、ありえないから.....」

「.....もお～～、理由くらい、絶対分かってんじゃん.....言わせんな.....」

「.....ん。電話、鳴ってるけど？」

「ふ～ん.....無視しちゃうんだ？ それって、アタシがいるから？」

「にひひ♪.....じゃ一、アタシがトドメさしたげる」

「ん、しょ.....」

「はい、これでまた.....お兄とアタシ、二人だけ.....♡」

「あ一.....まあ、大事な電話だったらゴメン」

「でも、さ.....お兄も.....何と言うか.....それどころじゃないしょ」

「ほら.....まだ時間.....たっぷりあるよ.....？」

「.....ねえ、どーする.....？」

「.....も、もつかい、.....スル？」

(恥ずかしがりながら)

「ふ、ふーん.....そんなにしたいんだ.....やっぱ.....男なんだな、お兄って.....」

(頬にキス)

「ちゅつ……えっと……スルんならさ……シてあげる……」

「だ、だからさ……お、おつきくしないとデキないじゃん。だから、アタシが、その……舐めたげようかって……」

(口にキス)

「ふふつ、はーい、任された！ ちゅつ……それじゃ……おちんちん、一回抜くから……」

「んん……あつ……あ……」

「ん……ゴムも……アタシが取ったげる……んしょ……」

「わ～……♡ エッグい量出してんじゃん……！」

「でもおちんちんは、まだまだ元気って感じ……♪」

「前から思ってたんだけさ……もしかして……お兄って、絶倫ってやつ？ 友達のカレシとか、1回したら大体バテちゃうって聞いてたんだけ……」

「あー！ ストップ！ おちんちん拭くなって！ その……付いてる白いのごと……アタシが舐めるの……」

(フェラ)

「ちゅ……ぺろ……じゅる……ちゅる、ちゅぼ、ちゅぼ……んう……ん？ んー……」

(咥えながら)

「うん、くさいよ。まずいし。でも……これがお兄の匂いと……じゅるる……味だからあ……ん……ちゅむ……ふ……これが……いつも、アタシをイカせてくれるんだね……ナカで……あんなに……シて……」

(フェラ)

「ちゅむ……はあ……んう……ふふ、勃ってきたあ……んんん……あふう……んふふ、はやくおつきくなれよー……んー……れるれる……んう……」

(咥えながら)

「じゅふじゅふ……お兄のおちんちんなんて……れるる……子供の頃から、見てたじゃん……はあ……じゅるるるる……んー……れるるる……幼なじみだもん、一緒にお風呂入ったりしてたんだからさあ……はふ……じゅふふふ」

(咥えながら)

「んむ……でも……あの頃と、全然違うじゃん……はむつ……普段もだけど……こうひて……じゅつ、じゅふつ、じゅふふ……んあ……おつきくなると……全然……んう……れるるるる……じゅふふふ……」

(咥えながら)

「じゅふ……んむう……ちゅむちゅむ……子供の頃のアタシ達が、今のアタシ達見たら、んふ、んう……はふう……びっくりするよね……おちんちんがこんな……おつきく反り返って……それにアタシが……お兄のおちんちん舐めてるなんて……じゅふふふ……れるるるるつ……」

(フェラ)

「はあ……じゅふ、じゅふふふふふ……んむつ！」

(咥えながら)

「んー、もう口に入りきんない……はみ出しちゃう竿のとこ……手でコスコスするね……
こしこし……ん……おちんちんビクビクしてきたあ……んふふ、可愛い……♪」

(咥えながら)

「先っぽの割れ目、舌でしてあげる……れるれるれる……あっ、ごめん。夢中になると手が
止まっちゃう。コスコスしながら……じゅふ……れるれるれる……」

(咥えながら)

「んむっ！？ ふふ……そうだよ～？ じゅふふ……手の向きかえたの……ちゅふちゅふ
……逆手？ ていうの？ これすると、裏筋擦れるからあ……男の人は喜ぶよおって……
友達が教えてくれたの……だってお兄、裏筋好きじゃん？」

「はあ……裏筋舐めたくなってきた……れるるるる……ちゅ……根本太い……今度は
先端に……れろおお……」

「あっ、いけない。また手がとまっちゃってた。えっと、手もコスコスして、袋の方も
モミモミして……」

「れるれるれる……ちゅ……ん……おちんちん熱い……硬いし……はあ……濃い匂いが
ムンムンしてるう……れるれるれる……」

(以下、咥えながら)

「じゅふ……ん……んふ……ねえ……アタシ……ムズムズしてきちゃった……じゅふ
じゅふじゅふ……ごめんだけど……手、離してもいい……？」

「ありがと……ん……ねえ……恥ずかしいから、こっち見ないで……れるるる……
見せてって……んむ……ムリだよ……ちゅ……はあ……ん……だけど……ウズウズして
辛いい……」

「んむ……今日だけ、だからね……こんな……自分でおっぱい揉んでる……恥ずかしい
ところ見せるの……んつ、んうつ……！ はあ……ん……くう……ああああつ……！
乳首……気持ちいい……！」

「んつ、じゅふっ、れるるるるるる……んうつ……はうつ……ん……んう……足りない
よお……じゅふふ……乳首、ギュってしてるのはい……んう……もっと……れるる、
ちゅ、ちゅむ、ちゅぱっ、んんん、じゅふじゅふじゅふ……んう……はあ……
おちんちん、もう……凄いい……はあ……美味しい……んう……アタシ……
濡れちゃうよお……」

「ふう、ふう、ちゅむむむ……ふえ？ なに？ ん……じゅふふ……んう……そう、
だけどお……触りたいのは……おっぱいじゃない……けど……んう……自分で……
指で……なんてやだあ……ちゅふふ……んむう……そんなのむり、それだけは、
ほんとむりい……」

「んう……見たい……？ ちゅ、ちゅふ、んう……フェラしながら……自分で、してる
ところ……見たいの……？ でもお……ね？ フェラもっと頑張るからあ……
一人えっちは恥ずかしすぎるよお……」

(フェラ)

「じゅふふふふ！ じゅふふふ！ じゅふ！ ちゅふ！ ちゅぼ！ じゅふふふ！」

(咥えながら)

「んううつ……おっきい……はあ……もういいでしょ？ ね？ もう挿れて……挿れて
……んう……？ 一人えっち、しなきゃダメ？ やだあ……ね、これ挿れて……

ほしい……ほしいの……ねえ……お兄も限界のくせに……わかった、わかったよお……」

(咥えながら)

「んんんうつ……！ あつ……指、挿れたよ……けど……足りない……足りないい……
んむつ、ちゅふちゅふ……ねえ……指じゃ足りない、ねえ、これ、お兄のおちんちん
じゃないと……届かない……足りないのお……」

(咥えながら)

「ねえ……じゅふふ……これ頂戴……お願ひ……ね、いいでしょ？ 指、挿れたじやん！
ねえ……ねるるるるる……じゅふふふふ……じゅぼつ、じゅふ、お願ひ、願い……」

「はあ……ほんと？ いいの？ 早く……早くう……そうだ、ゴムつけたげる」

「ん……すごおい……こうしてみると、すごいおつきい……熱いし、硬いし……出来た。
ねえ、このゴムキツくない？ 大丈夫？ ならいいけど……なんか、キツそうに見えて
……ゴム、ピチピチで……」

「お兄はそのままでいいよ。さっきいっぱい動いたから疲れたでしょ。アタシが全部して
あげる」

「あつ……、でも、その……アタシ……ま、一人で挿れられないから……挿れるところだけ
手伝って」

「そうやって、おちんちん持ってて。んつ……んんつ……あつ……ここ、だあ……んんつ
……あつ！ 入つ……たあ……んんんんつ……！」

「はあつ……どんどん入っちゃう……！ あつ、ああつ、やっぱ、やっぱいってえ……！
これ……深く、なっちゃう……！ さっきより、もっと、奥まで……あつ、ああつ、
来る……来るううう！！」

「あつ……あああああんつ！！ 深い……深いよお！！」

「や……やっぱい♥ こんな……奥う……はあ……さっき届かなかったとこ、
当たってるう……」

「はあ……はあ……ん……動くね……」

「んつ……ああつ、んふつ、あつ、んうう……♥ あつ、うん、へへ、そう、だよ……
ナカの……好きなとこ、あたるように……動いてる……あ、あふつ、あ、ああつ、
きもちいい～♥」

「ああつ、あんつ、ああつ……！ ん……ちよつとお……」

「あん……もう……おっぱい見すぎ……」

「でもお……んつ、んつ、んう……ふああ……ん？ ふつ、ふつ、もう、男の子だなあ……
あふつ、いいよ……好きにして……」

「ああつ！ だ、だからって……いきなり触っちゃ……ひやああんつ！ やらつ、乳首、
それ……好き、好きいつ……！ はあつ、うう……感じちゃうう……♥ ぬ、濡れる、
濡れるからあ……♥ 乳首、クリクリしちゃ、やあ……！」

「ああんつ！ さ、さっき、自分でしたのと、全然違う……！
腰、腰止まんないいつ……！」

「あつ、あんつ、あつ、これやっぱ、やっぱいいつ……！ 奥のいいとこ、先っぽがつ、ゴリゴリって、太いのつ、強く、当たって……んくうう……！ はあ、ああつ、気持ちいいいい……♥」

「んつ、ん？ おっぱい持って、なにして……あああああんつ！」

「乳首つ、だめ、んうつ、ピンピン弾かないでえ～！ ああつ、やあ、それ弱いの、知ってるでしょお……！？ はあつ、あああつ、んあつ、はあんつ……！」

「やああつ、ナ力、動いちやうう……はあ……んんう……はうう……ねえ、アタシ、おちんちん締めすぎじゃない？ 痛くない？ んつ、んうつ、もう、よすぎてえ♥とまんないのぉ……！」

「痛くないの？ ……気持ちいいの？ はあ……あん……アタシとえっちするの、気持ちいい？ 好き？ えへへ、そつかあ♥」

「それなら、いいよお♥ おっぱいに、何してもいいよ♥ はあ……うん……乳首も、おっぱいも、全部好きにしていいよ……あ、あああんつ！ それつ、いい、ああつ……あうううんつ！」

「あ、あふつ、ナ力、締まって……おちんちんの形、わかるうつ……！ は、はあつ、ナ力のいいとこ、深いとこまで、全部、当たって、ああつ……♥」

「お兄のおちんちんも、テクも、手も、すごすぎいっ♥ は、はあつ、えっち、する度、アタシの身体、女になってくう……♥」

「あつ、あつ、ああつ、あうつ、あつ、腰、止まんないいつ……！」

「ひやあああんつ！ ああつ、指で……クリいじっちゃう……お兄の前なのに、オナニー、止まんないんよおつ！ おちんちんでゴシゴシされながら、オナニーするの、きもちいよおつ、ああつ、はうつ……んあつ！」

「……んんつ、だめ、我慢できない……ごめんね、アタシ、お兄とえっちしてるのにい、気持ちよくなるのに、夢中になっちゃってえ……はああんつ、あ……や——ツ、あ、ああつ！」

「ひやあああつ！ あつ、ああああああつ！ やば、これ、やっぱいっ！ いい！ ひやあああつ！ ああ……あああああんつ！！」

「んつ、どこ、触ってるって……く、くりい……あつ、あああつ、んつ、だから、クリ、だつてばあ……！」

「全部、言わなきや、だめって……い、意地悪、意地悪うつ……！ ひやああああんつ、だめつ、乳首、それだめつ、感じる……感じるうつ……！」

「そ、それって、いうのはあ……ち、乳首を……強く、ぎゅって摘んで、先っぽを、コスコスするのでえ……ひやあああつ、だめだつてばあ……！」

「い、言うまで、やめない……？ ……い、言う、言うからあ……！ ゆ、アタシはあ、お兄とえっちしてるのにい、く、クリトリス、自分で、クリトリス、いじって、気持ちよくなつて、ましゅう……♥」

「ああああつ！ おっぱい、や、やめるって、い、言ったのにい……！ は、激しくなつてりゅう！ ああつ、もう、だめ、アタシだめ、おっぱいも、クリも、奥も……あつ、もうイク、イクうつ……！」

「はうう♥ ごめんねっ、また、アタシの方が、気持ち良くて♥ あ、ああつ、くるつ、
ぐりゅう♥ あ、ああ、イクイクイク……！」

(絶頂)

「あああああああああああああああああんっ！！」

「んああああっ！！ ナカで、おちんちん暴れりゅ、ああっ！ 出てる？
てるの？ う、嬉しい、あ、ああつ、アタシ、またクるう……精子で…びゅっびゅ
されて、イッちゃ…！」

(絶頂)

「や、やああああっ！！ あああああつ……！」

「はあ……はあ……んう……はあ……はあ……」

「へ……？ うん……大丈夫……大丈夫だから……もう少し……このまま……ぎゅって
して……」

「はあ……気持ちいい……ほっとする……」

「ねえ……お兄はどうだった……？ ふふ、気持ちよかつたっしょ……？」

「だってお兄も……イくとき、すごかったんだよ……？ おまんこに精子びゅっびゅ
したいよお、って必死な顔してて……あんな顔、ぜーつたい……他の人には、見せちゃ
ダメだかんね……」

「……ん、約束♥ そのかわり……アタシのおまんこ……いつでも、使わせたげる……♥」

「……今日はどーする？ 疲れちゃった？ ん、アタシも♥ ジャアサ、もーすこし、ベッドで
のんびり、イチャイチャしてから……」

「……ってあれ？ ヤバ…退出まであんま時間ないじゃん……」

(照れながら)

「…なんかすっごい…夢中になっちゃったね……」

「……ふふ、お兄、腰ヘロヘロになってるし♪ ウける……」

「いーよ、先シャワー浴びるから、少し休んでなって」

「今日も……お疲れさま……その、か、カッコ良かったぞ……」

「次会う時もさ……変な遠慮とかしないで、もっとたくさん、お兄の好きにしていいから」

「……ガマンとかしたら、ショーチしないから……な、約束しろし♥」

//トラック2

「あああつ……あうつ……ああああああつ、もう、だめ、だめえつ……！」

「ああああああつ！！ イイ！！ イイ！！ はうう……ああつ、んうう……
あああああつ！！ そこつ！！ そこつ、ああつ！ いやああつ、イッちゃうう、イク、
ああああ、イクう……！！」

(絶頂)

「んんつ……ああつ、あああああつ……んんんんんんつ……！ んつ、んんんんん……！！」

「はあ……はあ……ああああ……あ……んう……あつ……膝、まだ震てる……」

「お兄、ちゃんとイケた……？アタシ……もう、途中からわけわかんなくなっちゃって……」

「ん、イケたならよかったです♡ にひひ……JKギャルのおまんこ……今日も
最高だったっしょ…？」

「でもさ……お兄、まだまだ……こんなんじゃ物足りないよね……」

「もー、いちいち言わせんな……アタシだって……結構ハズいんだから……」

(照れながら)

「ねえ……もう一回シよ？ ……今日さ、いつもより時間長めに取ってたじゃん」

「う～～……こっちの心配とかしなくていいから。あんな激しくしたくせにさ……♡」

「ん……あ……うあ……はあ……はあ……ヤバ……抜いたのに……まだお腹の中に、
入ってるみたい……」

「ん……今日はあ……ゴム取らないで、このままゴシゴシしちゃうから……♡」

「びゅーって出した精液くちゅくちゅしながら手コキすんの、好きっしょ♡」

「……え、耳も舐めてほしいんだ？ ふーん……」

「な、なんか……お兄、変態みたい……♡」

「いーよ、やったことないけど……お兄のためなら、頑張っちゃうし♡」

「あ、別に拭いたりしなくていいから。お兄が汚いわけないじゃん」

「それじゃあ……ん……しょ。お隣、失礼しま～す♡」

(耳舐め)

「ちゅ……れる……ちゅふ……こんな、感じ……？」

「だいじょーぶ、忘れてないよ。おちんちんもちゃーんと、シゴくから……」

「うわあ……ゴム越しにせーし、たぷたぷしてんだけど……もしかして、溜めてた？
アタシにゴム越しでびゅびゅーってしたくて……ガマンしてたっしょ？ ……にしし、
そーいうの、嫌いじゃないぞ♡」

「ちゅ……ちゅ……ぺろ……ぺろぺろ……はあ……じゅるるるるつ……ん？
こうやって……じゅふじゅふ……ん……お耳、フェラする方がいいの？ 反応が
全然違うじゃん」

「じゅふじゅふ……あ……ちゅむちゅむ……れるれる……あれ？ こんなところに
ホクロあったっけ？ ほら、ここ。あー、ここ、自分じゃ見えないか。アタシも
気付かなかつたな……ちゅつ……」

「れるるるる……ちゅむつ……じゅふじゅふ……ん……ちゅむちゅむ……れろ、
ちゅ……ん……んふふ……おちんちん、硬くなってきたね……」

「おちんちんも、一緒に触るよ。普通に握ると、逆手と、どっちがいい？ オッケー、
そっちで握るね……うわ……♥ マジドクドクしてんじゃん……」

「ん……う、こうして触ってるとさ、やっぱ……お兄のカリって、結構エグいよね……
おまんこの中でひつかかるたんび……意識飛びそうになっちゃうんだけど……♥」

「JKギャルをただのメスにしちゃう、エローい形してる……♥ お兄は分かんないだろう
けど……アタシ、結構照れ屋なんだよ？ でも、このおちんちん前にしたら……もう、
ガマンとかムリ……♥」

(以下、耳舐め)

「ちゅ……くちゅくちゅ……ん……おちんちん、ビクッとした……れるる……はあ……
耳、好きなんだ……ふー♥ あはっ！ ふー♥ ちゅ……ちゅむつ……れるる……」

「ん……おつきくなつてくう……ちゅつ、ちゅぱつ、れるるる……硬い……んう……
ぐちゅぐちゅ……はあ……んー……？ 耳まで真っ赤にしちゃつて……もー、可愛い
かよ～……♥」

「んう……ちゅるるる……ぐちや……ねちゃ……ん……ちゅぱつ、れるるる……んふつ、
はあ……ちゅむちゅむ……じゅふじゅふじゅふ……んう……はあ……♥ 硬あい……♥
これが……さっきアタシのナカで……あんなに……強く……はあ……んう……早く
欲しいい……♥」

(耳舐めここまで)

「はあ……はあ……あー、ムリ……もーちょっとだけ、お兄の可愛いとこ、見たかったん
だけど……これ、ガマン出来ないヤツ……♥ いいよ、ゴムとか付け替えなくて……
このままいれちゃお？ もう、待てないから……♥」

「んあああつ……！ あつ、ああつ、二回目……なのに、全然……元気……♥
ふ……とい……つ！ あ、あふつ、んうつ、あつ、あつ」

「お兄……キス……キスしてえ……♥」

(ディープキス)

「ちゅ、じゅるる……れるるる……ん……んふつ……♥ れるるる……ごく……んむつ……
ちゅむちゅむ……じゅるるる……ん……んう……！ んむつ……ふはあつ！」

「凄……いい……♥ はあんつ♥ あつ、ああああつ♥ いいとこ、擦れたあ……♥
は……はあ……来るう……♥ アタシの、一番奥に、おちんちん来るうう……♥」

「ああああああ……♥ んんん～♥ いい～♥ いいよお～♥」

「あつ♥ あつ♥ あつ♥ 腰、止まんない♥ 始まったばっか……なのにい……アタシ、
やばいい……おちんちん、しゅごいっ、すぐイッちゃう……♥」

「ふあ？ ふへ？ 前の……？ オ、オナニーしながら……セック……ス……あつ……！
あの……指で……ふあ……ん……いじりながら……んう♥ するやつう……♥」

「んんん～♥ あつ、やらやらあ♥ 思い出したらあ♥ おまんこキュンキュンして……
う、うずうずすりゅうう♥」

「ん……ねえ……お兄にしてほしいい……ね、手を置いてくれればいいからさあ……
んつ、んああつ、ねえ、ねえつ、お願いつ」

「お兄のつ、指がいい、ねえ、ねえ！」

「んんん～、あう、もう、いじわる、いじわるう……！ はあ……んん……
我慢できない……アタシ、アタシ、自分でするう……！」

「ああ！ あああつ！ んうつ！ はあつ！ これっ、これきもちい♥ きもちいおお♥」

「ああああ～♥ んんんう♥ はあう♥ ねえ……どうして、こんな、やらしい、えっち、
知ってるの……？」

「えっちな、動画……？ やっぱ、りい……、知ってるよお、お兄が、えっちな動画、
オカズに、してるので……」

「ううん、ぜんぜん怒……ん、ないし……男の子なら、当然じゃん……一人エッチくらい、
誰でも、するつしょ？」

「そ、それにい……お兄が、何で抜いてても……本当にえっちしてるのは、アタシ
だけだしし……あ……あふつ……あ、あああんつ！！ ああ……あああああ～ん♥」

「ふああ♥ んうつ、おまんこ、締まるう……♥ あ、あああつ♥ お兄の、形に
なっちゃうつ、ナカ全部つ、おちんちんに当たってりゅう♥ これっ、これやばい、
やばいってえ♥ あつ、ああつ、ああああああんつ！」

「ナカのイイとこ、全部つ、おちんちんに責められりゅうつ♥ やあつ！！ 腰、腰、
止まんな……あああんつ！！ むり、むりむりむりいっ！！ おまんこ全部と、
クリ、一緒、なんて、頭、壊れちゃうよお……！！」

「ひやああつ！？ ま、待ってえ、い、今、おっぱいらめ、その触り方、一番……
感じりゅからあ……」

「ああああああつ！！ らめえつ、乳首、ぎゅってしないでえつ！ ああつ、コスコス
されると……んううつ、きちゃう……きちゃうよおお……！」

「ふはあつ♥ ああああつ、ああんつ、イイ……イイよおつ、あ、ああつ、あつ、
ああ……んうつ……おかしくなるう……は、はあつ……また……溜まつてく……
気持ちいいの、お腹の中に、たまつてく、はあ、ああつ、きもちいの、
ふくらんでえ……あ、あああつ、身体の中、いっぱいになっちゃうよお……！」

「ん、やああつ、やらあつ、頭、頭の中まで、全部、あああああ♥ 気持ちいいよお♥
ああ♥ もうらめ、こんな……気持ち良いなら、もう、死んじやうう……♥」

「あつ、ああつ、あつ、あああああんつ！ あ、あふつ、ああつ、イク、もう、アタシ、
あああつ、ごめん、なさい、アタシ、あああつ、来る、来ちゃう、やら、やなのにい、
まだ、イきたくない……のにい……んふあ♥ ああああつ♥ お腹も♥ おまたも♥ 脚も
震える、もうい……いつちやうよお……ごめんなしゃい……！」

「あ、あああつ、あ、あんつ、ああつ、あああつ……！」

(絶頂)

「んんんんんんんんんんんんんん……！！ あつ、いやあああつ、ああああああつ、
あああつ、あああああああああつ……！！」

「つはあつ！ あつ、はあ！ はあ……はあ……ああ……」

「んつ……おちんちん、おつきい……まだね……ごめんね、アタシだけ、一人で先に
イッちゃった……」

「アタシ、まだ頑張る……けど、ちょっとだけ、待って……す、凄い、イッたの……
まだ……ナカ痙攣して……止まらな……」

「あうつ！？」

「やあつ、待って！ 突き上げ、ないでっ！ あうつ、これ、深っ！ ま、待って、
お願い、これ、凄い、やばいっ！」

「い、イッたばっか、なのにいっ、あんつ、あんんつ！ そ、そんな、激しく、
さえたらあつ、あつ、あつ、あんつ！！」

「あああああつ！ あつ！ あんつ！ あああつ！ んうつ！！ あつ！
ふ、深いいっ！ あ、ああああああああんつ！！」

「し、子宮、子宮口、あ、当たつ、て、るうつ、あつ、あつ、い、いいつ、んんうつ、
お、おちんちん、太いい、おまんこ、おちんちんで、いっぱいになつてりゅう……
あ、あふうつ……！」

「らめ、らめえつ、すぐ、すぐまた、アタシ、アタシあ、イ……いつちやうう……うう、
やら、やらああ、こんな、こんな、すごいえつち、やらあ、ああああん♥」

「んあああつ！！ らめつ、おっぱい、揉むの、だめ、おっぱいまで、なんてえ……
んうつ……！ ち、乳首、ピンピンらめつ、弾かないでえ、ああああつ、やらあ、
ああああん♥ 気持ちよすぎりゅう♥」

「あつ♥ ああああ～♥ ふあ♥ ああ♥ ん……はん……♥ あつ、ああつ、んふつ、
ああつ、あんつ、ああああつ、あつ、おちんちん、また、おつきく……んうつ、ナカ、
広がつちやうよおつ、あああああんつ！！」

「腰、こひしゅごい、つよいい♥ あんつ♥ 奥つ、奥、ああつ、しゅごいい、
しゅごいのお、あつ、あつ、子宮、当たつて、気持ちいい、あああああ！ こんな、
えつちい……あつ、また来そう、ごめんなさい、ごめんなさあい……！」

「あつ、うんつ！ ゆ、指、ね？ アタシ、クリ……あふつ、いじるよお……お兄、
こういう動画見て、一人えつち、したんれしょう……？ お兄の、したいえつち、
アタシが、全部すりゅんだもん、えへへ♥」

「アタシ？ アタシの、おかげ？ アタシが、一人えつち、する時？ お兄……だよお……

お兄……」

「子供の頃、お兄のこと考えたら……おまんこむずむずしてえ……お兄のこと、考えてえ……初めて、したよお……えへへえ♥」

「あつ、あつ、最初は、えっち、知らなかつたから、キス……とかあ……想像して……
触る、だけでえ……えっちのこと、知つて、からは、お兄と、してるとこ、想像して……
ナカ、指でえ、ずっと……してたあ……♥」

「最近は……えっち、思い出して、してりゅよお♥ んつ、こえ、こええ、このっ、ナカの
好きなとこ、おちんちんにゴリュゴリュう♥ されるの♥ 思い出して♥ 指ですりゅう♥
でもお……」

「あつ、指じや足りないのぉ、切なくなるのぉ♥ はあ……♥ 幸せ♥ おちんちん入つてて
幸せだよお♥」

「あああっ！！ あつ、急に、激し、激しいよおつ！！ どうして、どうしてえ！！
ああああっ、ゴンゴンいってるうつ！！ あつ、ああっ！！ くるうつ！！
くるくるくるうつ！！」

「やらあああっ！！ やらっ！！ おちんちん、すごいっ！！ ああああっ！！
やらああっ！！ こんな……ああつ、あふつ、ああああつ、イ……あああああああ、
くるううつ！！」

(絶頂)
「ああああああああああああああああああ！！」

(絶頂)
「おちんちんドクドクしてるうつ、ああつ、イイ！！ おちんちん気持ちいい！！
いやああああああん♥」

(絶頂)
「んくうつ、やあつ、ナカ、締まるうつ！ んんんうううう♥ イクのとまんないいい♥
ああああああつ♥ ああ……あ——、んつ……やあん……♥」

「…………あ…………はあ…………はあ……はあ……ああ……はあ……はあ……」

「…………う？ ……うん……、大丈夫……」

「ちょっと……トんでた……みたい……？ 頭、真っ白……」

「大丈夫……だけどお……キス……して……？」

(キス)
「ちゅつ……ん……ちゅつ……ふふつ……優しい、キス……ねえ……もっと……ちゅ……
ちゅふ……」

「ふふ……、幸せ……♥ お兄とのエッチ……大好き……」

「……って……もう、こんな時間…。延長……は……お金、あんまないし……」

「今日は、これで、終わりかあ……」

「もー、そんな寂しそうな顔すんなし……」

「ほーら、お掃除フェラしてあげるから……シャワー浴びる準備しなって……」

「ゴム…外すね……ん……しょ、と……うわ、2回分のせーしでたぶたぶ……こんなの
おまんこに直接出されたら、絶対孕んじゃうね……♥」

「じゃ、いただきまーす♥……れるるる……んむつ……じゅるる……んつ……」

(フェラ)

「……じゅぶ……じゅるるるるるつ、じゅぽ、じゅぽ、んむうつ、じゅるるるるる……」

(咥えながら)

「んふつ♥ お兄、ビクビクしてる……可愛い♥ んむ……じゅるるるる……」

「ん……ふは……んつ、ゴク……ごく……」

「はい、おしまい♥ おちんちん綺麗になった♥」

「……じゃあ、シャワー行こ？」

「ガマンするの大変だと思うけど……それはその……アタシも……だし」

「いっぱいお金ためて……さ。また来よ？ 約束ね、お兄♥」

//トラック3

(声を殺して)

「.....ん.....んう.....んあつ.....んんんんつ、あふつ、くう.....ん.....ああああつ.....！」

「ああん、もうっ♥ そんな、腰パンパンするのダメエ.....♥ アタシのベッド、揺れる、
からあ、そんな激しくしたら、お外に、ギシギシ聞こえちゃうってつ.....♥」

「パパも、ママも、旅行中で、いないけどお.....ご近所さんに、噂されちゃう♥
男連れ込んで、セックス楽しんでるって.....♥ セックス中毒の淫乱娘だって
思われちゃう♥」

「あ、だめ、だめだめっ！ 無理、声、ガマンとか無理つ♥あつ、あんつ、あああつ、
イクうつ、アタシ、い、イッちゃ.....あ.....ああああ！」

(絶頂)

「んあああああああああつ.....！！」

「んんうつ、おちんちん、びゅっびゅってうごいてりゅう、射精してりゅ、ああつ、
あふつ、あうう.....」

「はあ.....はあ.....一緒に.....イケた.....♥」

「はあ.....んう.....はあ.....ねえ、まだ.....するでしょ？ 今日は.....お泊まり.....
だもんね♥ 朝まで、たっぷり時間あるんだし.....」

「.....あー、さっきの気にしてる？ 別に良くない？ 聞かれても♥ なーんもやましーこと
してないじゃん♥」

「むしろ、分からせてやんなよ。アタシのことエローい目で見てくる、近所の所帯持ちの
オッサンたちにさ.....」

「.....コイツは俺の女だーって.....♥ お兄との.....おちんちんセックスがだーいすきな.....
現役JKだって.....♥」

(ディープキス)

「んちゅ.....ちゅるるる.....んふう.....じゅるるつ.....くちゅくちゅ.....ごく.....
ふはあつ、んう.....れるれるれる.....んうう.....はふつ、待って、ちょっと待ってえ
.....ゴム、付け替えてあげるから.....」

(ディープキス)

「ちゅ.....んん.....んんつ！？ じゅふじゅふつ、じゅるるるるつ、んむううつ！
ふはあつ、はあ、はあ、んうつ、んん～！」

「ふはあつ.....！ はい、出来上がり。にしし、上手くなつたつしょ。.....今度はお兄
から、ご褒美ちょーだい♥」

(ディープキス)

「んう.....！ ちゅふふ.....れるれる.....じゅふふふつ、ぐちゅぐちゅ、れるるる、
ちゅつ、はあ.....んむつ、んんつ、ふう.....れるれる.....ちゅむつ、ん～.....ちゅぱつ！」

(軽めのディープキス)

「ちゅ.....ちゅるる.....ちゅふ.....くちゅくちゅ.....れるるる.....んふ.....ちゅー.....
ちゅく.....ちゅつ、ちゅむ.....」

「ね、早く……おちんちんいれて……？おまんこ、寂しいんだけど……♥」

「あ……入って……くりゅうう……！ あつ、入っちゃう！ 嘘、こんな……いきなり
はあつ……！」

(輕く絶頂)

「ああああああああああああああああ！」

「ああ……ああ……あん♥ うそお……♥ いきなり全部……全部入っちゃったあ……♥
奥、当たったから……軽くイッちゃった……」

「はああん♥ 腰、動かすね♥ ううん♥ 動いちゃうつ♥ 上下♥ 上下に、
ジュボジュボ♥ しゅるね♥」

「あっ、ああっ、ああああっ、んっ、はあっ、あははっ、アタシの、ベッドお、
壊れちゃいそお……♥ はあ……こんな音、ママ達いたら、すぐバレちゃうね……♥
アタシ達♥ 激しいの、激しいえっち、してるって♥ アタシあ、激しいえっち
大好きってえ♥ アタシ♥ お兄のおちんちん大好きで♥ ご奉仕だいしゅきってええ♥」

「んん？ 手、前につくの？ こう？ あつ……谷間……谷間、見たかったんだあ……
おっぱい好き、だよねえ……ほんと、男の子なんだからあ……んつ、ああつ、んつ、
いや、じゃないよ……♥」

「ねえ、んつ、おっぱい、触って？ どうって……ち、乳首……♥ 乳首……さつき、
いっぱいされたから……ずっと、勃っててえ……んんつ、えっち、始めてから……
うずうずしてるので……ぎゅってされて……おまんこきゅんきゅんしたいい……」

「ひやあんつ♥ そんな.....先っぽ撫でるみたいに.....そつとされたら.....あ、あああ～♥ んふあ.....感じる.....けどお♥ じ、焦れつたいよお.....」

「んんうつ♥ まんこ、うねってるの……？ アタシは、わかんないけどお……き、お兄が、
気持ちいならあつ、ち、乳首、優しくしていいよお……♥ アタシ、おちんちんつ、
おちんちんで、ここ、んうつ、ねっ？ アタシ、ここ、好きでしょ？ ここ、カリで、
コリコリしてるからあ♥ お、おっぱい、我慢すりゅ、お兄が、したいならあ♥ アタシ、
なんでもすりゅうう♥」

「はあ♥ んう～♥ カリ硬いい♥ 気持ちいいつ♥ ああっ、あああっ、あああっ……！」

「ん……くうんつ……♥ 乳首い……あつ……んんつ……切ない……切ないよおつ……」

「きやああっ！ 急に、ぎゅって……あっ、あうっ、ああああ～♥ いい♥ 強い方がいい♥
感じる♥ 感じる、ああああんっ♥」

「はあんっ♥ おちんちん、また、おっきくなつたあ♥ んうつ……ええ？ アタシの
まんこが、締まつてゐるの？ あつ、ああつ、わからんない、もうわからんないよおつ……！」

「硬い、硬いい……！ ナ力全部つ、擦れてるつ！ あつ、ああつ、いい♥いいよお♥」

「アタシ、イキそう♥ あつ、あつ、ねえ、そろそろ、イク、イクからあ……♥ ね？ どう？ もう出る？」

「ねえ～、どうなの？ あっ、あふつ♥ アタシ、一緒にいいからあ♥ お兄がまだならあ、
アタシ、我慢す……あああああんつ！！」

「あっ！！ 急に、腰、突き上げ、ないでっ！！ あああっ！！ アタシの、奥うつ、そこ
好き、好きい！！ ああああ～♥ ああつ♥ ああああつ♥ あ♥ あああつ♥ あう♥
あああん♥ やらああ♥ やらああつ♥ ああああん♥ んんんう、くりゅ、
くりゅうううああああ～♥」

(絶頂)

「うにやあああああああああああああ～♥」

「あ.....はあ.....はあ.....ん.....はあ.....はあ.....」

「ごめんね、アタシ、一人でえ.....先、イッちゃった.....♥」

「ふふつ、お兄さ.....なんか前より体力ついたつしょ.....正直、めっちゃカッコイイん
だけど.....♥」

「今度は.....アタシのこと、考えなくていいから.....お兄の好きなように動きなよ.....♥」

「お兄にも、おんなじくらい.....気持ちよくなつてほしい、からさ.....」

(キス)

「んつ...！ ちゅ.....んちゅ.....ふふ、なあに～？ 急にい.....んむつ、んう～.....♥
ふふつ.....」

(キスしながら)

「んつ、んうつ.....あつ、あんつ.....二人とも、腰、動いちゃうね.....♥ ちゅ.....
んつ、んう、んふうつ.....あつ、ああつ、あつ、ああん♥」

(キスしながら)

「ちゅく.....んつ♥ んつ♥ んんつ♥ はあつ.....ああつ、あんつ、ああ.....！ ねえ♥
ベロ.....出して♥」

(ディープキス)

「んん～.....じゅぷつ、れるれる.....んつ、んふつ、んん.....ぷはあ.....れるるる.....
ちゅぷつ、ちゅぱつ、はあ.....はあ.....んつ♥ んんつ♥ んむう～♥ はあ、はあ～♥
んむう、れるれるれる.....じゅつ、じゅるるるつ！」

「ぷはあつ！ はあ、ああつ、もう、むり、むいい♥ 苦しい.....♥ はああん♥ あつ、
あつ、あんつ、ああんつ！」

「ああ～♥ いい♥ いいよお～♥ んう.....また.....おっぱい見てるう.....ん.....いいよ.....
来てえ～♥」

「あつ♥ あつ♥ お兄の頭、だっこすりゅのつ♥ 好きいつ♥ ん.....あつ.....♥
おっぱい.....ちゅぱちゅぱしてるう.....♥ んう♥ んふふつ♥ あああああ～ん♥ はあ♥
らめ♥ らめえ♥ 乳首、舐められるの.....気持ち.....良くてえ～♥」

「ああ～♥ んううつ♥ 脣も.....ベロも柔らかくて.....んう.....えへへ♥ 優しく
吸われるの、きもちい♥ えへへ♥ アタシのおっぱい、吸ってえ.....赤ちゃんみたい、
可愛いねえ.....♥」

「あんつ！ 噛んだら、痛いよお.....ん.....んう～♥ しゅき♥ 噪まれるのしゅきい♥
あ、ああああああつ.....♥ ぺろぺろされてりゅ♥ 乳首.....激しい.....あつ、ああつ.....
来てるう.....♥ きもちいの来りゅうう♥」

「ひやああああつ♥ んんんつ♥ きもちい♥ きもちいよおつ♥ ふええ？ き、きもちい、

きもちいところはあ……♥ んあああああつ♥ んんううう♥ 全部う、ぜ、全部う……♥」

「んんんんあああああつ！ おっぱいもお♥ おちんちんも♥ 激しい♥ えっち激しい♥
んんうう♥ 好き♥ しゅきしゅきしゅきい♥ あああああつ！ やらああ、こんな
気持ちいのやらああああつ、ああああああ、もうくるうつ、んんにやさいいいつ！」

「ああああああつ！！ アタシイク、イクイク、あああああああああああつ！！
ごめんなさいいいいつ！！」

(絶頂)

「ああああああああああああああああつ！！」

「しゅきいつ♥ しゅき♥ 全部好きいつ♥ 好き好き♥ あああつ、あああああんつ……！」

「はああん……ああ……あああ……んう……んあ……」

「ん……ねええ……キス……しょ～♥」

(キス)

「ちゅ……。う？ ねえ、キス～……ちゅ……。ん、もう、焦らさないでえ♥ ディープ
キスしたいよお♥ 舌ベロベロしたいのお……そりやあ疲れたけどお、そんなこと
より……もっとなのお♥」

(ディープキス)

「んううつ……くちゅ……じゅふじゅふ……じゅるるるつ……ん……ねえ、おっぱい
揉んで……んむうつ！？ んんつ、んんんつ、んつ、んんつ、ちゅぱ、好きい……
ちゅむつ、くちゅくちゅくちゅ……じゅるるるる……んん……れるれるれる……
は……あ……♥」

「んん……しゅきい……♥ んう……？ お兄のおちんちん……？ んふつ、大好き
だよお……♥ でも、お兄がしゅきなのお♥ だから全部好き♥ 焦らしたり、アタシを
恥ずかしがらせたり、意地悪するところも♥ えっちな動画見たり、アタシのおっぱい
ぱっかり見たり、男の子っぽいえっちなところも♥ キスも♥ おちんちんも♥ 精子も
好き♥ 全部好き♥ なんでもすりゅ♥ なんでもしてあげりゅのお……♥」

「んおお！？ いきなり……大きいい♥ はあ……ああん♥」

「ん……うう……ん……♥ 動く……ね……♥」

「んつ♥ んつ♥ あつ♥ おつ♥ おおつ♥ おふつ♥ んぐうつ♥ おちんちん、おつきい♥
あうう♥ おつ♥ おおつ♥ おぐうつ♥ ぎもぢいいつ♥ あつ、あうつ、アタシあ、
アタシのナカ、おちんちんでいっぱい♥ 苦しい♥ 苦しいよおつ♥ はあ、はあ♥
あああんつ……♥」

「んおおつ♥ おほおつ♥ ぐるじいよおつ♥ あふつ♥ ああうつ♥ あああつ！ んんつ、
ああつ、ごめんにやさしい、ごめんにやさしい、アタシあ、アタシあつ……！」

「ヤバっ♥ 気持ち良すぎるの、怖いんだけど……♥ あつ、あああああああ！ なにこれ、
わけ、わかんなっ……♥ ……でもやめないで、これ、ヤバいの、怖いけど、なんか、
もつ、頭、まっしろでえ……♥」

「あああつ♥ 許してえ♥ ぎもぢよすぎて♥ 怖いのおつ♥ おつ♥ おおつ♥ ごんなの♥
良すぎて怖い♥ 怖い……！」

「あつ、もう♥ お兄のバカ♥ ダメっ♥ ピストンゆるめちゃダメっ♥ アタシが助けてって、
ゆるしてーって言っても、お兄は絶対手加減しちゃダメ♥ お兄は今、現役JKをおちんちん
中毒にしてる最中だから♥おちんちん、いっぱいキメなきやダメなのっ♥」

(ディープキス)

「んんんんっ！？ ちゅ、ちゅむ、じゅるるるる、んんうつ！ ふはっ！ ああっ！
苦し……おつ♥ おつ♥ おつ♥ おちんちん♥ おちんちん強いっ♥ おぐ♥ おぐ突いて
ぐりゅ♥ こえだめ♥ こえらめえええ～♥ あああ～♥ んん……ちゅくちゅく、
れるるる……じゅふふふ……ふあつ……あああ～♥」

「んぐっ♥ はああ～♥ くるひい♥ ああああ～♥ んうう♥ ああつ……あつ、んう……
ちゅーしてえ……アタシにちゅーう♥」

(ディープキス)

「んんう♥ んんんうつ♥ ちゅふちゅふ……くちゅくちゅ……じゅふつ、じゅるるるる……
んんんんう♥ じゅふふ……ああ……んむつ……れるる……ちゅむ……ちゅばつ！
はあ！ はあ……ああつ、ああああああんつ♥」

「わ、わかった、わかったのぉ……♥ 奥つ♥ 奥♥ こんなの、初めてえ♥ 初めてで♥
でもわかったあ♥ わかったのぉ♥ アタシ、女だからあ、わかるのぉ♥」

「アタシあ……♥ 子宮降りてきりゅ♥ お兄の精子欲しくて♥ アタシの身体、えっちの
為に降りてきりゅのおお♥」

「太い先っぽ♥ いつもより♥ 子宮に当たる♥ 直接、当たってりゅよお♥ あううつ♥
こえ、やばあい♥ 強い♥ おおつ♥ おおつ♥ あああんつ♥」

「んああああつ♥ 先端で♥ 子宮グリグリされてりゅうつ♥ あああつ♥ 子宮揺れりゅ♥
ああ♥ あああつ♥ ひやああああんつ♥ ああ♥ ああああつ♥ イグつ♥ イグウ♥
あふあああ♥ ひやうううんつ♥」

「はああああんつ♥ やらあああつ♥ ひやうつ♥ おつ♥ おおおつ♥ おぼつ♥ んほお♥」

(絶頂)

「あつ♥ ああああああああああああんつ……！！」

「ああああつ……ああつ……！！ あひつ……あ……」

「……んぐっ……あ……あつ……かはつ……はつ……はつ……はあ……あ……う……」

「……んう……？ あ……あれ……アタシ今……もしかして、完全にトんじやってた……？」

「うん……ヤバかった……お兄の本気ピストン……死ぬかと思った……♥」

(耳にキス)

「んーん……ホントはね、お兄になら、何されても怖くないから……あーウケる……アタシ
結構、Mっぽいのかも……♥」

「てかさ、前より恥ずいこと言うのにも抵抗無くなって来たって言うか……エッチの最中、
あんま覚えてないんだけど……アタシ、結構ヤバいこと言ってるっしょ？」

「でも、それが多分……ホントのアタシ。全部本音♥ お兄のことが大好きで、お兄との
セックスに夢中な……幼馴染の現役JKギャルでーす♥」

「だから……今さら引いたりすんなよ♥ アタシ……もう、お兄無しとか無理だから♥」

「ふふ……さすがにちょっと疲れた？ お疲れ、1回休憩しようか……」

「あ、でもおちんちん抜くの禁止～……今日はお兄と……ずっとつながってたいし……」

「にしし……♥ ね、ぎゅーしよ？ ぎゅー♥ ほら、もっとお♥ 脚も脚絡めて……もー、照れるなし♥……おらおら、くっつけくっつけ～……♥」

「……んつ♥ あれ～？ おちんちん、また元気になってんだけど……♥」

「え、ダメなわけないじゃん……♥ いーよ♥ お兄が満足するまで……」

「いっぱいいいいっぱい、おまんこセックスしよ？ お兄♥」